KENWOOD

CDレシーバー

E202

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

Functional Operation

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション
Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション
EZ Operation

EZ Operation

© B64-2924-00/00 (JW)

困ったときは…

Help

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

取り付け方法など

付　録

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたを大きく次の３つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

Help ? Operation

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した［付録］があります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらない共通の操作を表しています。

CDの操作
CDをプレイする操作を表しています。
なお、この取扱説明書では、『ディスク』と呼んでいます。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

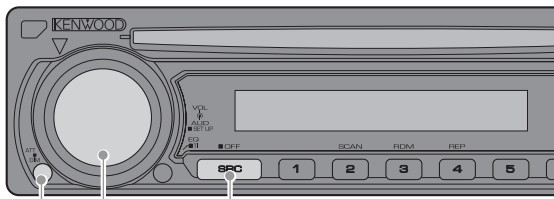
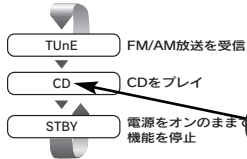
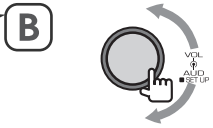
メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短く押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

１秒以上押す
１秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表します。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
通常、１秒間押します。また、メモリーに書き込むときには２秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

矢印の方向に押す
矢印の方向にボタンを押すことを表します。

回す
ツマミを回す（または左右に回す）ことを表します。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

Functional Operation
ソースセレクション
ディスプレイコントロール
CD モード
TUNER モード
オーディオコントロール
EZ Operation
Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

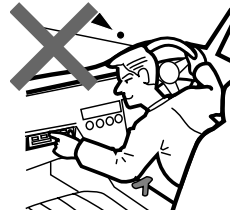
絵表示の例

⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

運転者が以下のようなことをするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し　など）

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

⚠注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ●音が出ない
- ●ディスプレイが表示されない
- ●異物が入った
- ●水がかかった
- ●煙が出る
- ●変な匂いがする

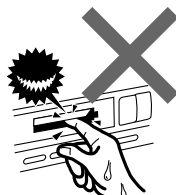
禁 止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

禁 止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

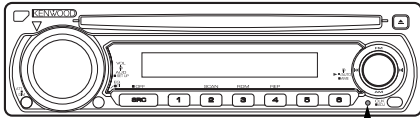
本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。

使用上のご注意

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help ?Operation」(24ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタン

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

操作パネルの取り付けについて

操作パネルが取り外されているときはロックアームが突出しています。乗車中は、必ず操作パネルを取り付けてください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。
このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

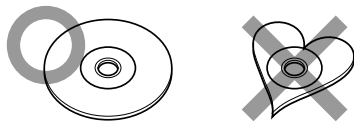
ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

操作パネルの端子のお手入れについて

本機や操作パネルの端子が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭いてください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

マークの付いていないCDは使用しないでください。
前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

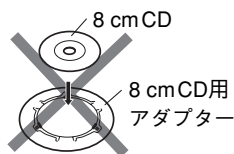
●

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作をすることがあります。

CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用すると、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機のお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

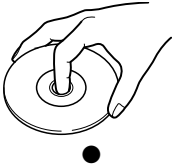
レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

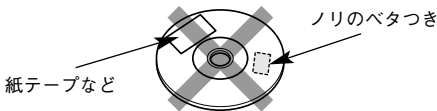
CDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
(レーベルが印刷されていない面が記録面です)

●

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

●

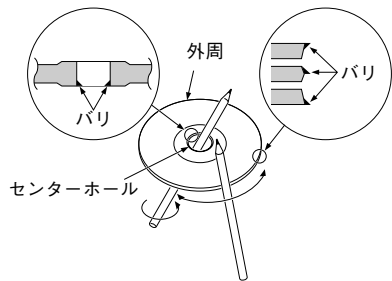
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCD が取り出せなくなったり、故障することがあります。

CDの保存

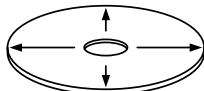
直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

●

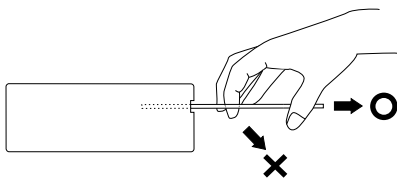
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。
“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

CDのお手入れ

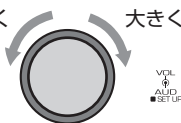
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

EZ Operation

CDのプレイは簡単！　CDを差し込むだけです。

音量を調整します。

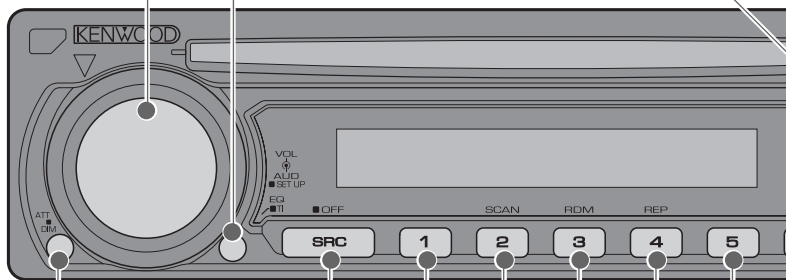
小さく　大きく

VOL AUD ■SET UP

1秒以上押すと、交通情報を受信します。
もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。

交通情報を受信中に音量を調整すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調整した音量になります。

演奏を一時停止します。
もう一度押すとプレイします。

チューニングモードを選びます。

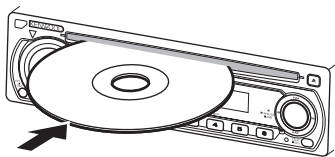
KENWOOD
VOL AUD ■SET UP
EQ ■TI
ATT ■DIM
■OFF　SCAN　RDM　REP
SRC　1　2　3　4　5

音量をすばやく小さくします。
もう一度押すと元の音量に戻ります。

電源をオン/オフします。
押すと電源がオンになり、1秒以上押すと、電源がオフになります。

CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
CDが入っているときに押すと、CD、FM/AM放送、STBY（スタンバイ）に切り替わります。CDが入っているときはINインジケーターが点灯します。

メモリーされている放送局を選びます。
２秒以上押すと、受信中の放送局を、ボタンにメモリーします。

安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

CDをプレイするときは…
プレイするCDを差し込みます。

CDを取り出します。

FM放送バンド（FM１/FM２/FM3）に切り替えます。

AM放送バンドに切り替えます。

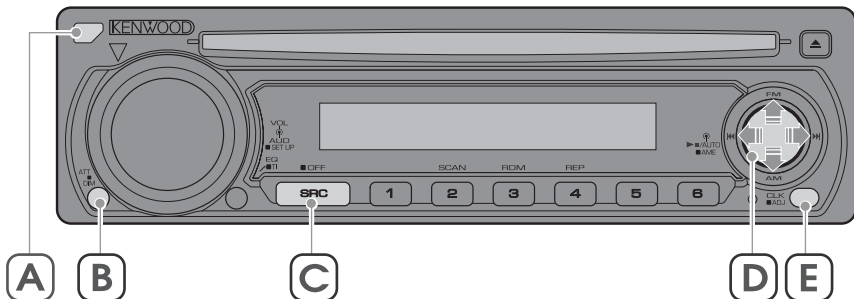
プレイする曲を選択します。

受信する放送局を選びます。
受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、メモリーしている放送局を順に受信するようにしたり、周波数を１ステップずつ変えたりできます。（18ページ）

交通情報の周波数を（1620kHz/1629kHz/522kHz）切り替えます。

ソースセレクション /

Functional Operation

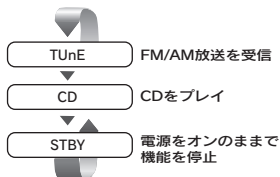
ソースセレクション

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

時計表示

時計を表示します。

10 : 35

押すたびに、時計表示がオン/オフされます。
CDモード中は、トラックタイムと時計表示が切り替わります。

時刻合わせ

時刻を合わせます。

1 スタンバイモードにします

STBY

2 時計を表示します

10 : 35

3 時刻合わせを開始します

10 : 35

時計表示が点滅するまで押し続けます。

4 時刻を合わせます

"時" を合わせる

"分" を合わせる

D

プレイするソースを選びます。
また、ディスプレイに時刻を表示したり、パネルの取り外しもできます。

5 時刻合わせを終了します

“分”を調整したときは、“00”秒からカウントがスタートします。

パネル取り外し

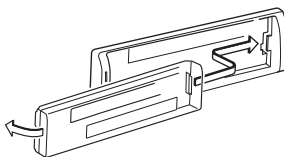
操作パネルを取り外します。

パネルのロックが解除され、パネルが取り外せます。

- 電源がオンの時にパネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する恐れがあります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿度が高い場所
  - ほこりのかかる場所

パネル取り付け

操作パネルを取り付けします。

1 操作パネルを合わせます

パネル右側の凹を本体右側の凸に合わせます。

2 操作パネルを取り付けます

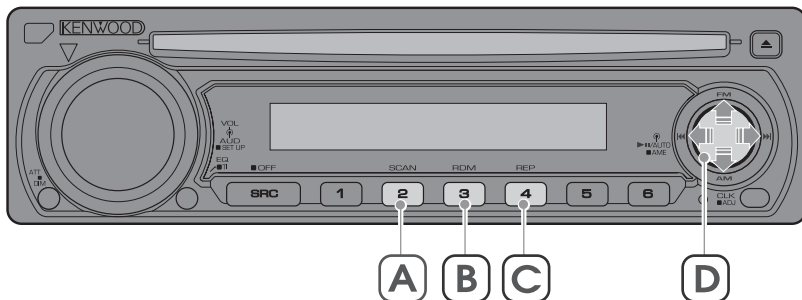
パネル左側を本体に合わせてロックします。
パネルが取り付き、本機が使用可能となります。

ディマーコントロール

ディスプレイの明るさを設定します。

On DI

２秒以上押すたびに、ディマーがオン/オフします。
オン時はディスプレイが暗くなります。

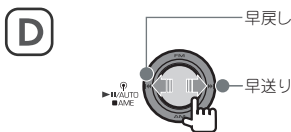
CD モード

トラックサーチ

プレイする曲を選びます。

D

マニュアルサーチ

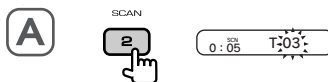
現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。

D

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します

A

スキャンプレイ中は**SCN**インジケーターが点灯し、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで…

A

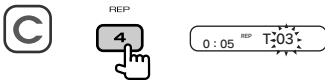
その曲からプレイされます。

すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

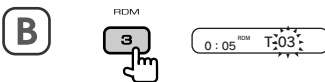
CDでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDの聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

リピートプレイ

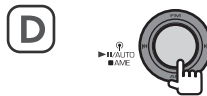
現在聴いている曲を繰り返しプレイします。

押すたびに、リピートプレイがオン／オフされます。リピートプレイ中は、**REP**インジケーターが点灯し、トラックナンバーが点滅します。

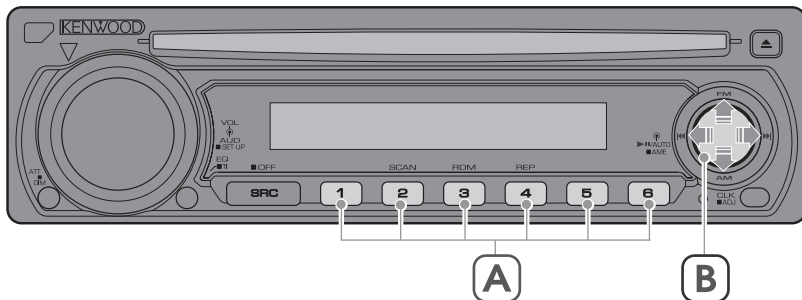
ランダムプレイ

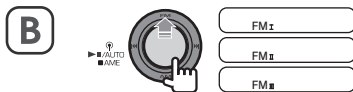
現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。

押すたびに、ランダムプレイがオン／オフされます。ランダムプレイ中は**RDM**インジケーターが点灯し、トラックナンバーが点滅します。

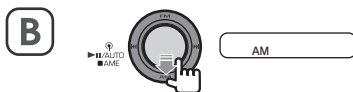
 を▶▶I 側に押すと、次の曲をランダムに選択します。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。

もう一度押すとプレイを再開します。

TUNER モード

バンド切り替え

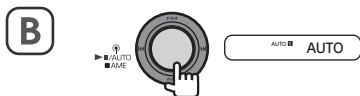
FM Ⅰ、FM Ⅱ、FM Ⅲバンドに切り替えます。

押すたびに、FM I/ FM II/ FM IIIに切り替えます。

AMバンドに切り替えます。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 チューニングモードを選びます

押すたびに、チューニングモードがオート1/オート2/マニュアルに切り替わります。
チューニングモードがオート1のときは**AUTO 1**インジケーターが点灯し、オート2のときは**AUTO 2**インジケーターが点灯します。

3 放送局を選びます

チューニングモードがオート1のとき
(AUTO1インジケーターが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。
途中で解除するときは、もう一度押します。

チューニングモードがオート2のとき
(AUTO2インジケーターが点灯しています)
メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は次のページを参照してください)

チューニングモードがマニュアルのとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

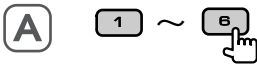
プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます

FMɪ 2ch 83.0

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 オートメモリーを開始します

FMɪ Ach 83.0

周波数表示が次々に変わるまで押し続けます。

6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

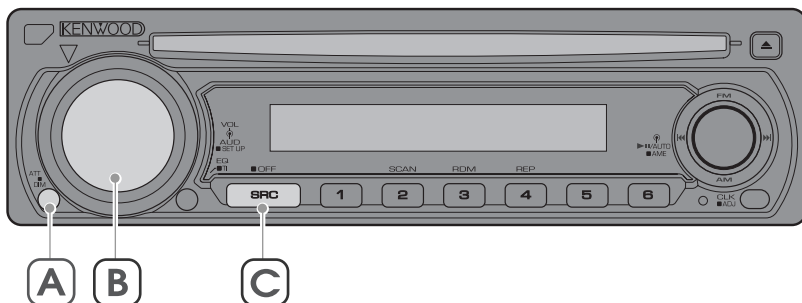
2 放送局を選びます

3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます

～

FMɪ 2ch 83.0

ボタンナンバーが表示されるまで押し続けます。

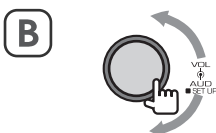
オーディオコントロール

オーディオコントロール

音量バランスなどを調整します。

1 設定したいソースにします

2 設定するオーディオコントロール項目を選択します

押すたびに設定項目が切り替わります。

3 値を選択します

回すたびに設定値が切り替わります。

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BAS［バス］ （低音の音量レベル）	−8〜8
MID［ミッド］ （中低音の音量レベル）	−8〜8
TRE［トレブル］ （高音の音量レベル）	−8〜8
BL［バランス］ （左右の音量レベル）	L［左］15〜R［右］15
FD［フェダー］ （前後の音量レベル差）	R［後］15〜F［前］15

- “BAS”、“MID”、および“TRE”の値は、各ソースごとに設定できます。
- “BAS”、“MID”、および“TRE”の値は、dB EQUALIZERで設定した値に置き替えられます。

4 オーディオコントロールを終了します

ATT DIM 以外のボタンを押します。

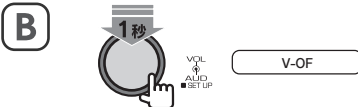
“FAD”調整にしているときは…

音量バランスなどを調整します。

オーディオセットアップ

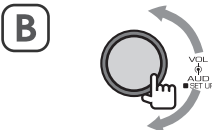
ラウドネスとボリュームオフセットの調整をします。

1 設定したいソースにします

2 オーディオセットアップモードにします

“V-OF”表示になるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します

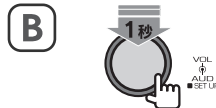
押すたびに設定項目が切り替わります。

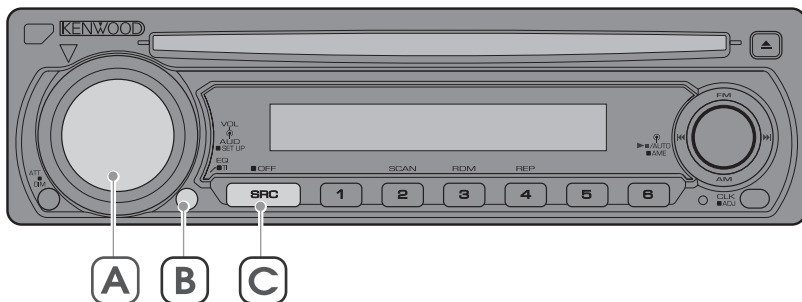
4 値を選択します

回すたびに設定値が切り替わります。

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
V-OF［ボリュームオフセット］ （ソース間のレベル差）	−8〜0
LOUD［ラウドネス］ （低音域と高音域の強調）	On/OFF

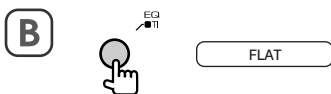
- “V-OF”（ボリュームオフセット）を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定することができます。
- “LOUD”を“On”に設定するとLOUDインジケーターが点灯します。

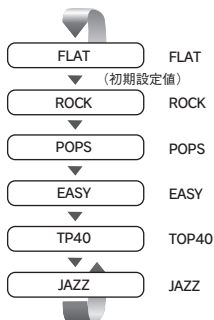
5 オーディオセットアップを終了します

元のソース表示になるまで押し続けます。

オーディオコントロール

dB EQUALIZER

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

1 設定したいソースにします

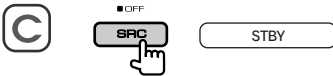
2 dB EQUALIZERを選択します

一度押すと現在設定されている音質が表示されます。
その後、押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。

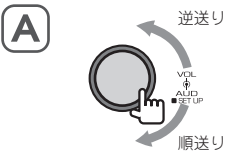
FLAT（初期設定値）
ROCK
POPS
EASY
TOP40
JAZZ

- dB EQUALIZERは各ソースごとに設定できます。
- dB EQUALIZERの設定は、スピーカーマッチングの設定により変わります。スピーカーマッチングを先に設定してください。
- "USER"は「オーディオコントロール」(20ページ）で調整した値です。
  dB EQUALIZERの設定を変えると「オーディオコントロール」で調整した値（"BAS"、"MID"および"TRE"）は、dB EQUALIZERの値に置き替えられます。

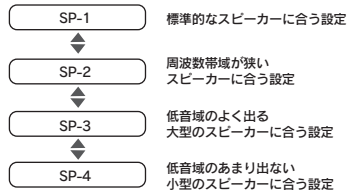
スピーカーマッチング

音質をスピーカーに合わせて微調整します。

1 スタンバイモードにします

STBY

2 スピーカーマッチングモードにします

3 スピーカーの選択をします

回すたびにスピーカーの設定が以下のように切り替わります。

表示	設定
SP-1	標準的なスピーカーに合う設定
SP-2	周波数帯域が狭いスピーカーに合う設定
SP-3	低音域のよく出る大型のスピーカーに合う設定
SP-4	低音域のあまり出ない小型のスピーカーに合う設定

4 スピーカーマッチングモードを終了します

Help ? Operation

電源がオンにならない/すぐにオフしてしまう

原因	処置
●ヒューズが切れている。	●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
●入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	●「接続」(30ページ) を見て正しく接続してください。
●スピーカーケーブルがショートしていたり、シャーシなどに接触してプロテクション機能が働いている。	●スピーカーケーブルを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

音が出ない/音が小さい

原因	処置
●フェダー、バランスが片方に寄っている。	●"FD"(フェダー) や"BL"(バランス) を正しく調整してください。(20ページ)
●ボリュームオフセットを設定している。	●"V-OF"(ボリュームオフセット) を正しく調整してください。(21ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

原因	処置
内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

原因	処置
●音量が大きすぎる。	●音量を適正に調整してください。
●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	●スピーカーの配線を確認してください。
●スピーカーの配線が間違っている。	●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

原因	処置
●自動車のアンテナが伸びていない。	●アンテナを十分に伸ばしてください。
●アンテナコントロール電源が接続されていない。	●「接続」(30ページ) を見て正しく接続してください。
●アンテナ入力がきちんと接続されていない。	●アンテナ入力を確実に接続してください。

音が途切れる

原因	処置
CDをイジェクトしている。	CDのイジェクト動作中は、一時的に音がでなくなります。イジェクト動作が完了すると元通りに音がでます。

CD mode

SRCボタンを押してもディスクに切り替わらない

原因	処置
ディスクが入っていない。	プレイするディスクを入れてください。

ディスクが入らない

原因	処置
すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

原因	処置
●取り付け角度が30゜を超えている。	●30゜以下になるように取り付けし直してください。
●取り付けが不安定になっている。	●しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

原因	処置
●CDが裏返しである。	●レーベル面を上にして入れ直してください。
●CDが異常に汚れている。	●「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
●結露している。	●しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
●CDが内部的に検出されていない。	●リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。(8ページ)

CD-R、CD-RWがプレイできない

原因	処置
ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

ディスクを取り出せない

原因	処置
車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。	ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

原因	処置
ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

CD mode

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

リピートプレイがオンになっている。 → リピートプレイをオフにしてください。（17ページ）

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。 → スキャンプレイをオフにしてください。（16ページ）

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。 → ランダムプレイをオフにしてください。（17ページ）

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。 → 各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

オーディオコントロール

オーディオコントロールモードにならない

STBY（スタンバイ）にしている。 → STBY（スタンバイ）中はオーディオコントロールの操作ができません。ソースモードを切り替えてから操作してください。（14ページ）

ラウドネスコントロールをオンにしても高音が強調されない

FM/AM放送を聴いている。 → チューナーモードでは低音のみが強調されます。

本機の状態を以下のように表示してお知らせします。

E-04 ：●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。

E-99 ：何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

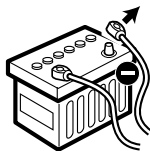
IN（点滅） ：CDプレーヤーが正常に動作していない。
➡CDを入れなおしてください。CDが取り出せない、またはCDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

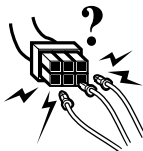
取り付け時のご注意

⚠警告

禁止

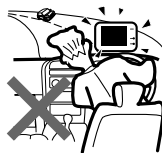
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V㊀アース車専用です。

実施

配線作業中は、バッテリーの㊀端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。

実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

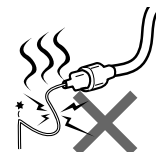
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

実 施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

禁 止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

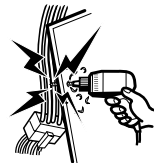
実 施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

実 施

電源がオンにならない場合や、オンになってもすぐにオフになる場合は、スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触して、プロテクション機能が働いている可能性があります。このような場合はスピーカーコードの配線を確認してください。

注 意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

実 施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

注 意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

実 施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

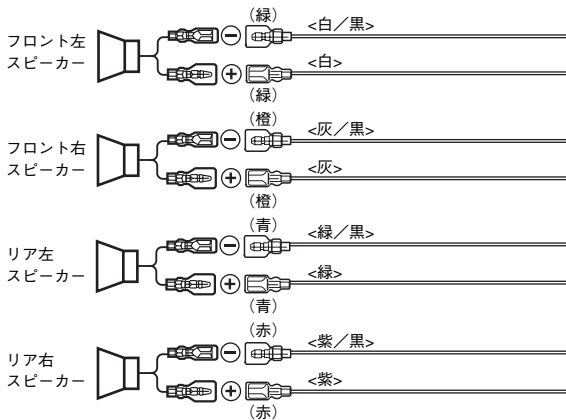
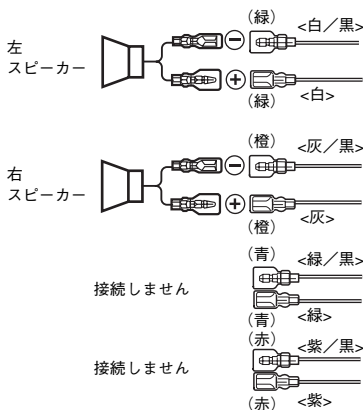
接続

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、
ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

ヒューズ（10A）

電源ハーネス
（付属）

注 意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

アンテナ入力
車両アンテナ端子
アンテナコントロール（青）
ANT CONT
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
パワーコントロール（青/白）
P.CONT
使用しません。
ミュート入力（茶）
MUTE
使用しません。
エンジンキー
アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
アクセサリー電源
ACC
ヒューズ
バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
BATT
バッテリー電源
メイン
ヒューズ
アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。
バッテリー

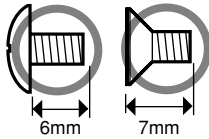
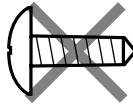
取り付け

付属のトラスネジ（M5 × 6mm）またはサラネジ（M5 × 7mm）4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

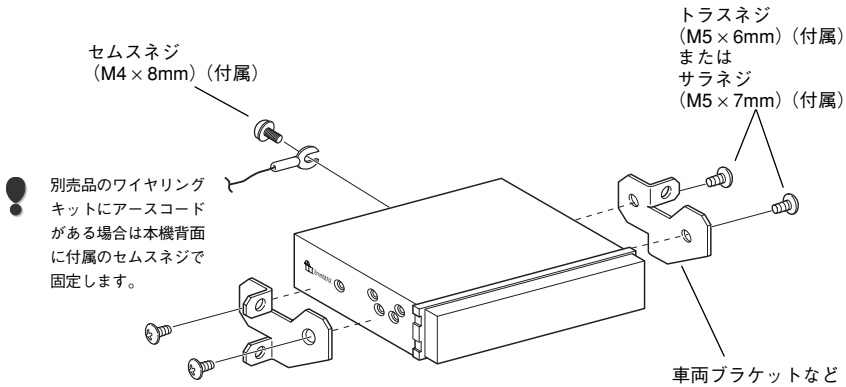
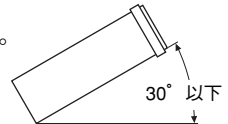
実 施

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ　　その他のネジ

6mm　7mm

付属ネジ一覧

ネジ	数
トラスネジ（M5 × 6mm）	4
サラネジ（M5 × 7mm）	4
セムスネジ（M4 × 8mm）	1

注 意

本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。
30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書
この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間
お買上げの日より **1年**です。

修理を依頼されるときは
「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理
この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  （本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）
- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性（±3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度（±400 kHz）	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ (25 μV)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAIAs
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500～200 rpm（線速度一定）
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比（dB）	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	50 W × 4
定格出力	30 W× 4 (4Ω, 1kHz, 10%THD)
トーン・コントロール（低音）	100Hz±10dB
（中音）	1kHz±10dB
（高音）	10kHz±10dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	178 × 50 × 160 mm
質量（重さ）	1.2 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ（M5 × 6mm）	4本
サラネジ（M5 × 7mm）	4本
セムスネジ（M4 × 8mm）	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

● 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
電話　(045)933-5212、(06)6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます）
FAX　(045)933-5553
住所　〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
受付時間　9:00〜18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。